

事業者等へ斡旋する制度を構築するなど、社会福祉協議会に一貫して業務を委ねられる補助金の予算化が必要だと考えるが。



承知しており、町長、地域包括とも相談し、社会福祉協議会と協議を行いたい。

② 手当を受給されている方には長い年月にわたり、介護されている方もいる。そういう頑張っている家族の方に対して、慰労的なことも考えていかなければならない。

**Q 東海林委員**

社会福祉施設大規模修繕事業補助金580万円について、具体的にどのような工事を行ったのか。

**A 吉田保健福祉課長**

「おにしか更生園」に係る大規模修繕工事で、消防法の改正に伴うスプリンクラー設置工事のほか、施設の耐震化、居室のユニット化を図る事業に対し補助を行った。

**A 吉田保健福祉課長**

① 現在の除雪サービスは、玄関前等を行っておらず、ペランダなど緊急避難の確保を主として実施している。高齢者の中には、玄関前も非常に厳しい方がおられるということも

**■ 農林水産業費**  
**Q 向井委員**

本年も産業まつりが盛會に終了し、関係者の

方々に大変ご苦勞をおかけしたところであるが、現在、川上肥育センターで小平牛の肥育を行っている「小平牛肥育組合」が26年3月で解散する予定となっている。今後産業まつりに提供する小平牛の肥育を今から計画的に進めるべきと思うが。

**A 仲島経済課長**

小平産の牛が全く提供できないということは大変憂慮する事態であり、肥育組合が解散した場合についての対応をJAと協議している状況である。



**Q 東海林委員**

① 「ゆうゆうそう」が開設以来6年が経過したが、毎年500・600万円の赤字運営となっている。このよ

うな状況を見込んでの運営なのか、それとも色々な反省点を踏まえ、改善策に取り組んでいるのか伺う。

② 堆肥製造センターについても稼働して5年が経過したが、指定管理者制度への移行を考えているか。

**A 仲島経済課長**

① 22年から23年にかけて収入が非常に落ち込んだが、冬期間の宿泊部門閉鎖により赤字額が90万円ほど減少している。現状については、経費の削減に努め、500万円以内の赤字に抑えるよう努めている。

② 収支については直営で何とか運営できる状況となっており、将来的には断定できないが、現状では直営で運営していく。

**■ 土木費**  
**Q 工藤委員**

道路橋梁の耐震化工事

の進捗状況はどうなっているか。



**A 横山生活環境課長**

道路河川等については現状のところ耐震化を要する箇所はないが、橋梁については長寿命化計画を策定して、25年度から着手する計画となっている。耐震化については、必要な部分があれば合わせて行いたい。

**■ 教育費**  
**Q 藤田委員**

昨今、教科書の採択については報道等でも取り上げられており、相当デリケートな部分もあるのかと思うが、管内の教科書採択協議会においてどのような協議がなされたのか伺う。

**A 長田管理課長**

平成23年度においては4回開催され、その中で教科書選定委員の選任、教科書展示の時期及び方法の協議、最終的に選定委員会からの調査研究報告を受け、採択の決定を行っている。展示については文化交流センターにおいて実施した。

**Q 工藤委員**

数年前から旧花田家番屋の歴史的資料を札幌大学の学生に整理していただいているが、町としてのどのような支援を行っているか。

**A 村井社会教育課長**

札幌大学川上教授の研究室が学生の勉強も兼ねて毎年、文化センターの一室で作業をしていた。部屋については無料で提供しており、全てが整理されるまでは、まだ2・3年かかる見込み。